

心残り候へ共致し方無き次第に御座候者近傍には何れも察する方は御一人とて無き筈に候へ共他より接近致し居る者無き其申難き候へ候に付工場之事は一言も申す候此用紙紙の用紙郵便切手又は巻紙を求めたる丈にも注意致し居り升次第

修繕職工 某

七月廿一日付 孕石所長宛
私は私の缺勤致しましたる事は決して自己本心からではなくしてはむなく周囲の事情に依りせざるを得ませんでした事を小生の平常をよく御了知の方々の夙に御諒察の事と思ひ且信じて疑はない者で御座います御承知の通り私には既に女子があり且つ老母と弟をもひかへてゐる身で御座りますとして彼等は皆々此私の瘦腕にのみすがつて居るので御座います

思ひますに大戦後世界的大不景氣風が我が國殊に造船界にも襲來して参りました然るに我等母子五人の者は何不自由なく暮させて戴けました事は實に我々の感謝にたへない所で御座ります造船所が倒れれば我等母子五人の者も皆俱々倒れねばならぬので是會社は實に我等五人の命の綱で御座います私は最早拾日も休業致しました故に尙此上休む様になりますと私達五人の者は皆路頭に迷ひます何卒事情御推察の上一日も早く社會の爲めに工場が開かれます事を衷心より熱望致します

七月廿一日付 造船所宛

〇〇工 〇〇

今迄通りニ仕事ニ從テモラウト志望ス今トナリテハ驚キマセン會社ノ目下ノ様ニナサレルトハ始メヨリ先見シテ居リマシム
〇ノロニノツタ職工ガ馬鹿デス煽動者ノ幹部誠首ヲ望ム

七月廿三日付 造船所宛

工作課 〇〇〇〇

海運界の不況に伴ふて造船界も退々衰勢に向ひつゝある折柄此度我々等要求問題等を起すに至りしは實に遺憾に存じ候果して好結果を得るや否や誠難問題である事は初發當時より想像致し居り候處果せる哉此度我々の態度恢復の見込なしとて無期休業を發表さるゝに至りしは實に深く窮狀を斥(訴?)ふる者に御座候強制的壓迫を加へられ印刷致し候もの、其の後の行動は成る可く除け居り候小生は永久に社則を固守し誠實に就業する可き決心に御座候間從前通り復業を祈ると共に一日も早く平穩なる解決を持つ者に御座候也

七月廿二日付 造船所宛

職工 某

拜啓失筆乍ら一筆申上候此度の争議御迷惑の段諒察致し居候私の主人事實社に勤め居り候處訪問委員とか何とかの役にて勤めて居るよう見受けられ候今日新聞紙上にて承れば一萬枚のがきにて各自の意を求めらるゝ事の事に御座候得共主人とては貴社の説明にはよく了解致し居る様に認められ候なれども唯今早々出勤も出来兼ねる様子に見られ候間休業明の日より少くとも十日間位は斷呼(乎?)たる誠首は御見合し下さる様一重に御願ひ申上げ候此方法に致され候はゞ二日目に五十人三日目に百人四日目に三百人と五日六日目に全職工の半数以上は必ず出勤すること、斷言してはゞからな思ひ居り候五人十人集れば此の語に持ち切つて居るにもかゝらず主人も今更の如く左様申居り候文章は前後致し甚だ解し難く候得共宜しく御諒察あらん事を切願する次第に御座候

斯る情勢なれば會社側の試みし切崩し策は著々奏効し、二十二日午前中には前記會社守警詰所備へ付の就業申込書は早くも千枚も減少し居たるが、之に對し野口守警課長は「いや大して悲觀する事はない。昨日中に就業申込が三百通近くも届き今朝十時頃までに守警詰所の申込書も千枚近く出て居るから本日中には二千近くの申込は確かにあるでせう。形式は端書や手紙で造船所や主任技師に宛てたのもあり各自守警の手許へ持つて來るものもあるので整理の上半數以上になれば勿論會社も門を開ける筈だから茲一兩日の内には解決の曙光を見るに至るでせう」と至極樂觀せる口吻を漏らせるが、職工側は「其麼に早く軟化する筈が無い。修繕、造機は會社の手先が頻りに奔走して居るから多少の効果はあつたかも知れぬが大勢は動かすことが出来ない」と打消し、切りに結末に努めつゝありたり。多數職工の決心は尙牢固として抜くべからざるものありて團結は甚だ強固なりしが、結末に動搖を來せるは事實にして二十二日朝までに正式に就業希望を申出でし者は造船所内六百八十六名、内燃機内二百三十餘名、電機部内十六名に上り逐日増加の趨勢は罷工團も亦如何とも爲す能はざりき。